

小児入院医療管理料を  
算定する病院へのアクセスに  
関する地方間格差の検証

広島国際大学 医療経営学部

江原 朗

# 目的

- 病院小児科は、1990年の4,120施設から2014年の2,656施設へと大きく減少した。
- このため、乳幼児医療費助成制度等の整備により経済的な制約は取り払われても、二次医療機関への乳幼児の地理的なアクセスの低下が特に地方で懸念される。
- そこで、小児の二次医療機関へのアクセスの地方間格差を明らかにする。

# 方法(1)

- 小児入院医療管理料を算定する医療機関803施設のリストは各地方厚生局のホームページから入手した。

(平成29年1月現在)

- 医療機関所在地から地理情報システム(GIS)により緯度経度を計算した。

(ジオコーディング)

## 方 法(2)

- 医療機関から自動車による移動時間が30分および60分以内である圏域をGISで算出(到達圏解析)
- 到達圏に含まれる街区(全国約21万地区)を特定し、圏域内に居住する15歳未満の小児人口の比率を地方間で比較した。

# 道路種別の自動車速度

	種別	幅員(m)				不明
		≥13	5.5-13	3-5.5	<3	
都市	高速道路					
	都市間高速	80	80	50	10	2
	都市高速	60	60	50	10	2
	国道、県道、市道	30	20	17	7	2
	その他	30	12	8	4	2
	不明	30	12	8	4	2
地方1	高速道路					
	都市間高速	80	80	60	15	10
	都市高速	60	60	60	15	10
	国道、県道、市道	50	40	25	10	10
	その他	50	20	15	10	10
	不明	50	20	15	10	10
地方2	高速道路					
	都市間高速	80	80	60	15	10
	都市高速	60	60	60	15	10
	国道、県道、市道	55	50	30	10	10
	その他	55	30	15	10	10
	不明	55	30	15	10	10

道路密度: 都市, ≥15000 m/km<sup>2</sup>;

地方1, 5000~15000 m/km<sup>2</sup>; 地方2, <5000 m/km<sup>2</sup>

# 成績(1) 30分到達圏

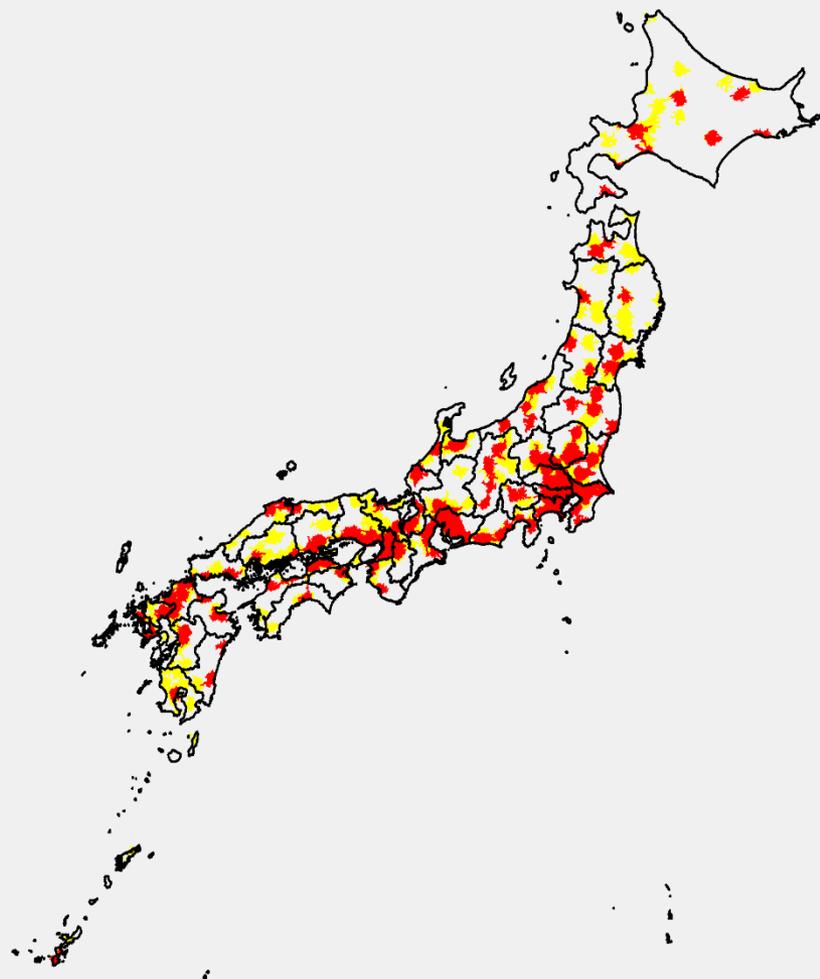
- いずれかの小児入院医療管理料を算定する病院までの到達時間が30分以内の圏域(国土の25.7%)に全国の小児の88.0%が居住.
- 常勤小児科医が5名以上いる管理料1-3の病院への到達時間が30分以内の圏域(国土の13.3%)には、全国の小児の75.5%が居住.
- しかし、この比率は関東や近畿で高く、その他の地方で低かった.

# 30分到達圏

地方	小児人口		国土面積	
	いずれか (%)	1-3 (%)	いずれか (%)	1-3 (%)
1 北海道	78.8	65.9	7.3	2.8
2 東北	73.8	45.4	18.9	5.9
3 関東	94.9	90.1	51.8	39.7
4 中部	87.2	71.8	31.7	17.4
5 近畿	94.2	86.2	41.7	22.2
6 中国	83.9	53.0	31.5	12.7
7 四国	76.5	61.0	22.7	13.3
8 九州沖縄	79.2	63.5	28.7	13.2
合計	88.0	75.5	25.7	13.3

# 30分到達圏

(黄色, いずれか; 赤, 管理料1\_3)



## 成績(2) 60分到達圏

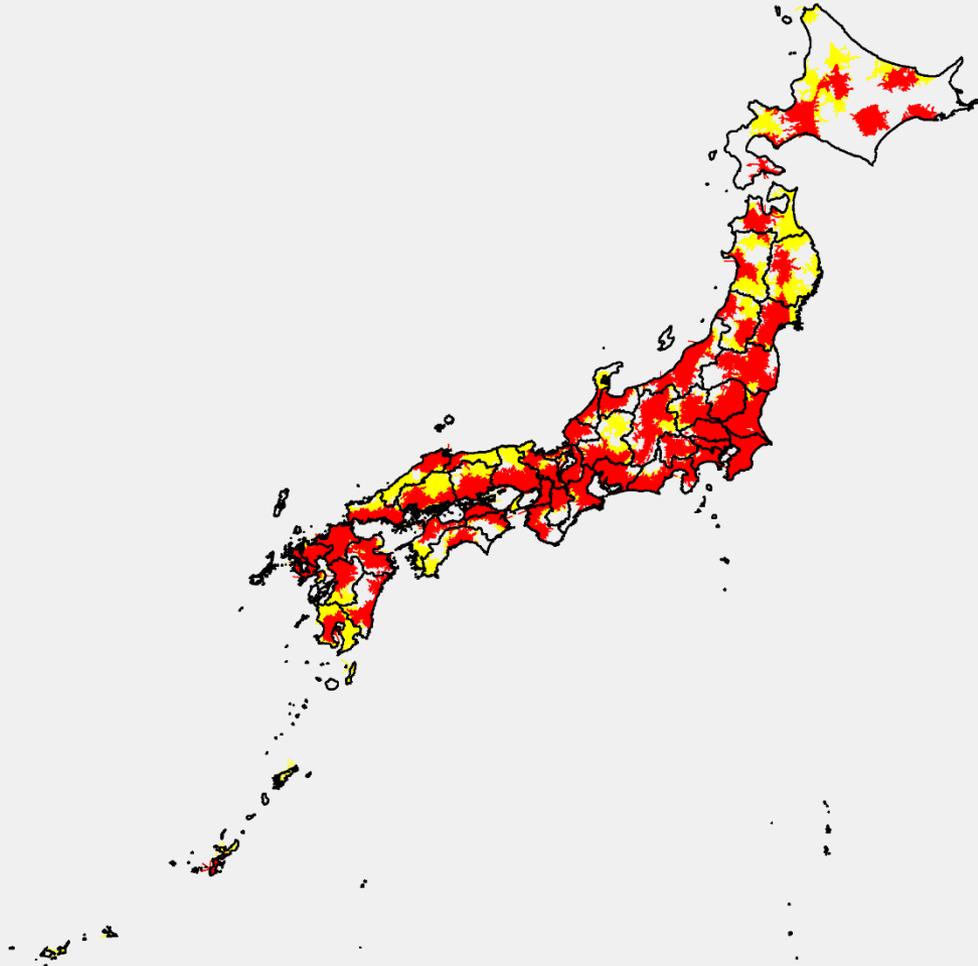
- いずれかの小児入院医療管理料を算定する病院までの到達時間が60分以内の圏域(国土の58.6%)には、全国の小児の95.2%が居住。地方間で大きな差異なし。
- 管理料1-3の病院まで60分以内の圏域(国土の38.7%)には90.5%が居住。しかし、関東や近畿で高く、北海道、東北および四国で低かった。

# 60分到達圏

地方	小児人口		国土面積	
	いずれか (%)	1-3 (%)	いずれか (%)	1-3 (%)
1 北海道	86.5	77.9	28.0	15.3
2 東北	90.6	69.5	53.9	24.2
3 関東	99.2	98.9	85.2	77.3
4 中部	95.9	93.5	69.5	53.4
5 近畿	97.3	95.1	74.8	54.3
6 中国	95.0	81.5	79.1	40.6
7 四国	85.3	79.8	51.8	39.3
8 九州沖縄	89.1	80.5	63.6	40.9
合計	95.2	90.5	58.6	38.7

# 60分到達圏

(黄色, いずれか; 赤, 管理料1\_3)



# 結 論

- 日本の95.2%の小児はいずれかの小児入院医療管理料算定病院まで自動車で60分以内の圏域に居住，大きな地方間格差はなし.
- 常勤小児科医を5人以上有する病院小児科まで60分以内の圏域に居住する小児の比率は関東および近畿で高く，その他の地方で低かった.

本研究はJSPS KAKENHI(日本学術振興会科研費)15K01786 の助成を受けたものです. 利益相反に関する開示事項はありません.